

第7号議案に対する附帯決議

芹ヶ谷公園芸術の杜・(仮称)国際工芸美術館整備事業については、芹ヶ谷公園と(仮称)国際工芸美術館を一体的な整備、中心市街地との連携、子どもと体験の視点の取り入れ、官民連携手法の検討など、市内外からの来訪者の増加や効果的な事業の推進が期待されるが、未だ、不明瞭な点が多く、今後の進捗の中で具体像を明らかにし、将来負担を増やさぬよう、費用対効果を事前に分析し公表するなどして、広範に市民の理解を得ていく必要がある。これらを踏まえた上で、芹ヶ谷公園芸術の杜・(仮称)国際工芸美術館整備事業関連予算の執行にあたり、以下の点について情報提供の徹底と逐次報告を求める。

- 1 芹ヶ谷公園と(仮称)国際工芸美術館の一体的な整備における検討状況
- 1 ネーミングを含めた(仮称)国際工芸美術館基本設計見直しにおける具体的な内容
- 1 子どもと体験という視点の取り組み
- 1 教育との連携
- 1 アウトリーチによる作品展示と学芸員活用の具体的なスケジュール
- 1 民間資金、民間活力の導入
- 1 国、東京都、関係団体等の補助の探求と予算総額の圧縮